

# 栃木市市民会議 総合計画部会 会議要旨

日 時：平成28年5月11日（金） 午後7時40分～8時30分  
会 場：栃木市役所3階 正庁

## 1 開会

## 2 あいさつ（小保方総合政策課長）

## 3 議事

### 1) 部会長及び部会長の職を代理するものの選出

部会長 中村 祐司委員、副部会長 山田 昇委員の両名を選出

※部会長及び部会長の職を代理するものの選出については、委員に諮ったところ特に意見がでなかったため、事務局案が了承された。

### 2) 部会の進め方について

#### ○総合計画部会の進め方について

#### 質疑応答

委員： 総合計画のグループ1から7は6月中旬と言っていて、8は7月上旬からスタートとなっているが、その遅れはどうして生じるのか。それから、今年度検証する実施シートの選定依頼というのは、去年は無かったので意義があると思うが、それを選定依頼するのに、ただこういう計画の中で選定するのか、きちんと実施シートが取れているものの中から選ぶのか、それによって意味合いが異なると思う。要は、プランニングの段階で選べというのがこの予定表で、結果がどういう風に動いていても疑問が生じていても滑りとおる可能性がある。

それから、20から25のシートに広げてということであるが、去年の1日だけの議論の中で大変タイトなスケジュールの中でやったわけだが、25というシートを定める根拠が明確でない。総合計画を見ていただくと100くらいあるが、それぞれの項目が、なんで100もある中から20なり25にするのか、そこのところをきちんと事務局のほうでも論理矛盾が無いよう

に詰めてもらったうえで依頼してもらいたい。

事務局： 昨年度も同じような状況で7月上旬にお願いした経緯があり、今年度も同じような状況で7月上旬でお願いしたところであるが、委員のご要望もあるかと思うので、こちらについてはなるべく早めに発送するようにしたい。

委員： 昨年もやったから今年も同じというのは前例踏襲型だから、それはこういう会議でもっともっと打破しようという話ですよ。そして同じ総合計画部会の中で、片方が6月の中旬に出るのが、なんでこちらは7月上旬なのか、スタートがもともとそれだけ遅れている、そういう姿勢でいいのかという問題だ。

事務局： なるべく早くに送付するようにしたい。総合計画に合わせて送付するように検討したい。

選定依頼のプランニングの件だが、実施シートが出来上がるのが7月の14日に最終的に確定するものであり、そちらを待っていると委員さんの実施シートの選定依頼が間に合わないという状況であり、加えて各所管課にお願いする時期もあり、今回については昨年いただいた市民会議の意見についての対応状況を回答案として作成している状況であるので、そちらを参考にさせていただいて選定をしていただければと考えている。

委員： 昨年は、20シートのみであった。それで今のようなお話というのは、25シートにするのもあってないし、全体像からどのように選ぶかというセオリーも見えてない。

事務局： 昨年度は、20シートを一日ということタイトな時間の中でご検討・ご検証をいただいたというように考えている。

当初26年度については、87シートすべてに意見をいただいたが、その段階では所管課による説明が無かったというようなことで、なかなか難しい検証になったかなと考えている。

昨年度については、一日ということ、シートも20シート限定ということで、シートの選考にあたっては、行革大綱の主な取り組みや、総合計画の基本計画の主要事業、あるいは行革大綱の4つの柱のバランス、あるいは課のバランス等を考慮して、20シートということで選定をさせていただいた。

今年度については、一日所管課による説明を増やさせていただいて、5項目を追加させていただいたければと考えている。

委員： まず25のシートを選定してくれというのが最初にあるわけだが、それは実施シートとして各項目が、結果が出されたものなのか、プランニングの段

階ということだが、資料を見ると、プランニングの段階で選定をするように要請されている。それだとあまりしっかりした意味をなさないと思う。

こういう項目があると87ある中から25を選ぶと、それはこういう計画で進めますよという総合計画書に書かれた内容をかみ砕いたものであると思うが、その実施した結果がそこには入っていないだろうと思う。この手順で見ると、次に職員により各課が、実施シート・計画書を作成し、とある。だから、後にそれをやるという手順がおかしくないですかということ。

事務局： 最終的に実施シート、実施計画書が、策定が確定するのが7月14日ということになり、選定依頼をお願いし、その選定結果を踏まえると7月中旬くらいを過ぎてしまう。最終的に7月下旬から8月上旬にかけて、所管課職員に参加いただいて、説明をいただき意見聴取という形になると、誠に申し訳ないが、実施シートを待ってのお願いになるとちょっと厳しいのかなということで、まずは昨年の回答の対応状況等を確認していただいて、選定依頼をお願いできればと考えたところである。

部会長： 委員の方が25項目を選ぶ時に、確かに委員の方がおっしゃるように、中身もあって仕組みもあってというのもわかるが、委員の方がやってみようというものを25項目出していただきたいという趣旨かと思う。その時には職員の資料作成が間に合わないということで、どちらがいいとも悪いとも言えないが、委員の方が選ぶ時には、中身を見て選ぶというよりは、この項目をピックアップしてみようと、それを集めて調整して、委員の方の意見を尊重したいという意向かと思う。

最初の質問にあった資料の送付を前倒しにすることは可能なのか。意見もあったことだし、そこについては努力してみしてほしい。

委員： 行政改革大綱・財政自立計画の重要性について、共有認識をしていただくと、また違うと思っている。基本施策はもちろん大切だが、その基盤をこの行政改革大綱財政自立計画で支えようとしているので、そういう目線で見えていただかないと、大変だからこの時期になってしまうというだけでは終わらない話かと思う。

部会長： 委員の意見だと、委員の方がピックアップするのにある程度中身のあるものを見たいうえで、判断したということかと思う。資料の作成が7月中旬ということになるので、逆に部会の日程をずらすということも考えられるが、そうすると、今度は他の部会や全体会とのスケジュールも問題となる。

委員： もう一つ、少しうがった見方になるが、初めにこの25項目だけを選ぶ形をとると、該当する担当部課の方が大変で、ほかの方は軽くなる。そういう

位置づけを先に与えてしまうことにもなりかねないと考える。

部会長： 理想としては全てということになるのだろうが、今回3日かけてこういった取り組みをするというのもすごいことだと思う。まずはやってみるということ。

委員： 昨年から関わっているが、8月のスケジュールが非常にハードであった。8月末の一回はわかるが、8月中旬とか下旬とか、今年のスケジュールはどうなっているか。

事務局： 1から7のグループについて、今会場を手配しており確定ではないが、予定をしているのは、総合計画部会としては、7月29日から8月の5日までで各グループ3日間を予定している。27日の全体会とはまた別で日程をとる。会場含め、決まり次第改めて通知する。

委員： 効果に疑問がある事業の抽出という作業がよくわからない。基本的に効果があると見込まれる仕事を行政はやっていると思われるので、「効果に疑問があると思われる」等にしないと、言葉が少しおかしいかなど。

それと、いただいた資料と職員の説明によって、各事業を理解するということが委員の作業としてあり、日常生活の中で行政とのかかわりで事業を見てきたもので、判断することもできる。しかし、こういった事業に関する疑問点を出すというのは、正直難しいのかなと思う。これは今年から始まるので、実効性を高めるためには、内容をよく説明していただいて進めていかないと、やりました、終わりましたというのでは意味がない。もうちょっと抽出で上がってきたものをどうするのか、市として予算措置に反映するのか等、そういう基本的な方針を説明してほしい。

部会長： 私の事前の理解では、行政からすると順調に進んでいると見えるが、委員からすればそうではないのでは、という部分もあると思うので、そういったものをおかしいのではということに記載していただいているのかなど。あくまで中心は、委員から見て、資料に書いてあることは大切なんだけど、いろんな目線から見て疑問があるのではというものをだしてほしいというものと理解していたがいかがか。

事務局： 送付する資料において、主要な事業の評価表と関連する事業の概要をお送りさせていただく予定である。そちらを見ていただいて、内容に疑問があったり、期待できる効果がわかりづらいものについて、簡単にチェックをしていただくように考えている。また、コメントを入れていただくことを考えており、それを担当課に伝えて、疑問に思われる事業を詳しく補足していこう

と考えている。

副部長： 効果というのは、費用対効果の面と、数値化されない効果とある。例えば、一人暮らし老人の安心感だとか、安全だとか、隣近所とのコミュニティだとか、そういったものはなかなか数値化されない。それは、やはり委員さんが回りを見たときに、市民感覚で数字にとらわれずに、効果があるかないかというのを主観的に判断してもらおうということかと思う。

部長： 数値化というのは必要なのだろうが、極端に言えば、数値ではちゃんとしているけど、皆さんからすればおかしいというものがあると思う。こういった点は、公共サービスの評価という点で非常に重要で、よく書いてあるからスルーするというのではなくて、逆に数値上は悪いけどよくやっているというものもあると思うし、皆さん自身の感覚の中でチェックしていただきたい。